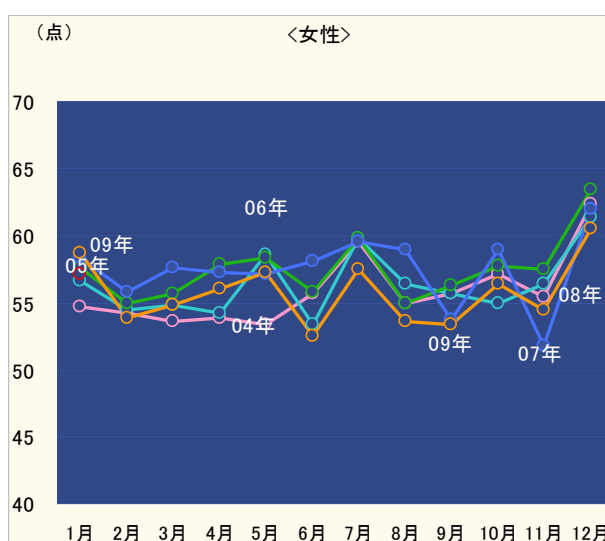


■ 2009年は男女とも低水準でのスタート。男性は1月としては過去最低。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比4.2ポイント減少、前年同月比3.5ポイント減少の46.1点で1月としては過去最低値、それもかなり低い水準です。女性はそれぞれ3.4ポイント減少、1.6ポイント減少の57.1点で2005年以来の低さです。ともに今年のスタートは厳しいものとなりました。また、男女差が11.0ポイントと大きく開いたのも目立ちます。

同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、男女ともにダウン傾向にあります。特に男性では「日常的な小さな」「中くらいな」「大きな値の張る」買い物の3項目とも先月に比べ大幅にダウンしました。また他の項目で目立つ点は、女性で「趣味・遊び」に力を入れたいという人の割合が生活力点調査を開始した2000年5月以降最低になっています。また「余暇・レジャー」も過去2番目の低さです。女性は家計防衛に追われ暮らしに余裕がなくなっているのでしょうか。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://seikatsusoken.jp/>) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要：生活発見パートナーズ調査】

調査地域：首都圏／調査対象者：18～74才の男女個人419人／調査方法：郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 大野・西尾 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

